



淀川大橋（十三の渡し下流）からみた淀川と梅田高層ビル群

<参加メンバー> 10人（男性8人、女性2人） 天候：晴れ

<コースタイム> 阪急十三駅9：55～10：05 十三公園～11：05 JR北方貨物船ターミナル線桁下1.2mのガード～11：20 旧中津川トラス橋跡～12：10 野里の渡し跡～12：15 野里住吉神社 13：15～大加がネチ（旧中津川堤防跡）～淀川大橋を渡り～14：50 阪急中津駅 約5H 距離：約10km

<行動の概要>

かつて十三は旧中津川の南岸にあった。十三は中国街道と能勢街道が交わる交通の要衝で橋がない時代、渡しが設けられていた。渡しを待つ人が休む茶屋が軒を並べて賑わっていたという。旧中津川は低湿地帯を蛇行して流れていたので氾濫が度重なり、対策のため明治後期に放流路として新淀川が開削され旧中津川は埋め立てられなくなった。同時に旧十三村は新淀川の底に沈んだ。今回は消えた旧中津川の痕跡(当時の堤防の「微高低差」地形)を探りながらのウォーキングです。(Gi)



旧中津川、新淀川と十三の位置関係



慶長10年(1605年)の絵図では十祖村と表記



スタートは阪急十三駅西口



十三公園 旧中津川堤防上にある



堤防上にあった大クスノキが残る



明治18年の洪水の記念碑



桁下1.2mのガード下を身をかがめてくぐる
JR神戸線とJR北方貨物線で形造られるデルタ線の盛土の下が一般通路になっている



旧中津川橋梁跡、9連橋のひとつ
橋は日本最初の鍊鉄製トラス橋という



橋梁のいが積み基礎が残る



野里の渡し、櫛の橋跡。いまは
交差路の一角に石碑が残るのみ



野里住吉神社。旧中津川の西岸に
ある



玉垣の内側に旧中津川の堤防
跡が残る



神社の許可を得て境内の一隅で昼食



全員集合



次に旧中津川の東岸へ。堤防上にあつたクロガネモチの大木が残っている。塀の内側に堤防の盛土あり。



同じく旧中津川東岸の堤防傍に建つ鼻川神社。



玉垣の内側は堤防の盛土が残っている。すぐ左に淀川の堤防が見える。



淀川大橋を渡る



淀川大橋から淀川と梅田市街地を見る



淀川左岸線トンネル工事中

計画していた長柄運河跡は淀川左岸線工事のために入れず。旧中津川の日本初錬鉄製9連橋梁の一部を移設した長柄橋梁や十三の渡しも見ることができず。計画を変更阪急中津駅をゴールとした。

(後日)



淀川右岸堤防上にある



十三渡し跡から梅田方面を見る

歩いたルート

